



三事研広報

NO. 6 H28. 3. 22 発行

三重県公立小中学校事務研究会

発行者 釜須 雅子

編集責任者 高階 圭子

待ちこがれた春は、よき人たちとの出会いや思い出とともに、毎年たごうことなくやってきます。今年度も三事研の活動にご参加いただき、またアンケートへのご協力ありがとうございました。いただいた貴重なご意見は来年度以降の活動に引き継いでいく所存です。今後とも三事研の活動にご協力よろしくお願いたします。



各部活動のまとめ

研究部

「教育活動活性化に向けた学校事務の実現」を研修主題とした「第6期中期研修計画」は、7年目最終年となりました。今年度は「さらなる実践 挑戦 チャレンジ」をテーマに、伝え実践する力をつける研修や、研究大会の還流報告及び個人・組織での実践発表を行い、資質向上をはかる研修を実施しました。また、役員でさまざまな実践を交流し、第6期の中で提案した「教育活動活性化計画」の検証を行いました。その中で、すべての教職員がそれぞれの専門性を尊重し、協働していくことが大切であり、教職員と協働するためには、教育活動そのものを理解することと、事務職員の職務を通じた教育活動への参画が必要だとわかりました。全職員で学校を良くし、学校教育目標の実現のために事務職員が参画できる体制づくりを整える必要を感じ、「教育活動活性化計画」が目指すべき事務職員像に近づくための指針となったと考えます。

あわせて、来年度よりスタートする「第7期中期研修計画」を検討・策定し、12月の第3回研修講座にて「第6期中期研修計画のまとめと第7期中期研修計画について」の提案を行いました。来年度からは「第7期中期研修計画」のもと研究・研修を進め、深めていきたいと思えます。

研修部

今年度は第6期中期研修計画の最終年として、研修主題である「教育活動活性化に向けた学校事務の実現」に向けて「さらなる実践 挑戦 チャレンジ」をテーマに取り組みました。

県大会では四日市大学副学長 岩崎恭典さんを講師に迎え「コミュニティ・スクールと学校事務職員」についてご講演をいただきました。また、熊野支部からは自分たちが経験した災害をもとに危機管理における事務職員としての職務の重要性について発表していただき会員と相互理解を深めることができました。

年3回の研修講座では事務職員としての資質向上をめざして各方面から講師の方を招いての講演や会員による個人実践発表・還流報告等を行いました。

県大会や研修講座の発表者、参加者の皆様をはじめ、様々な形で関わっていただいた皆様に改めて感謝いたします。アンケート等でいただいた貴重なご意見・ご指摘は十分に検討し次年度以降の活動につなげていきたいと思えます。1年間本当にありがとうございました。

情報部

今年度の調査活動では、「共同実施について県内の実施状況調査」と「県内支部研究状況調査」、全事研主管の「5月期調査」と「11月期調査」を県内各支部・各市町教育委員会の協力のもと実施しました。また東北大学教育学研究科 青木栄一教授による、共同実施に着目した労働時間調査を実施しました。予定していた事業ではありませんでしたが、役員会・支部委員会で承認いただき、会員のご理解とご協力により調査を実施することができました。広報活動では、三事研広報を年6回発行し、研修講座の報告、全国大会の案内や参加報告等を掲載しました。

また、会員の交流を図るため、広報誌「ひろば」を発行しました。「事務の手引」編集委員会は、分かりやすく使いやすい手引をめざして編集を進めました。ホームページには組織、各部の活動内容、「三事研広報」や研究大会の案内等を掲載し、情報の発信に努めました。

今年度いただいた「三事研活動内容アンケート」の貴重なご意見を、今後の情報部の活動に活かしていきたいと思っております。一年間、情報部の活動にご協力ありがとうございました。

<28年度の事業計画予定>

- 5月19日（木） 県事務研総会、第1回研修講座（男女共同参画センター）
- 7月22日（金） 第2回研修講座（川越町 あいあいセンター）
- 8月3日（水）～5日（金） 全国公立小中学校事務研究大会（山形大会）
- 10月13日（木） 県大会（発表支部：尾鷲支部）
- 12月13日（火） 第3回研修講座（男女共同参画センター）
- 2月3日（金） 東海地区公立小中学校事務研究大会
(岐阜県可児市)
- 2月17日（金） 全事研セミナー



今回の広報が最終号となります。アンケートでの温かいお言葉や、またメールをくださった方もみえて、本当に嬉しかったです。今年度「ひろば」「広報」「事務の手引」と担当させていただき、大変でしたが、理事をすることによって、たくさんの方々との貴重な出会いがありました。

つたない広報に一年間お付き合いいただきありがとうございました。忙しい日々が続きます。皆様ご自愛ください。広報担当の高階でした。